

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	人事課	氏名	中村和磨
派遣先団体名	朝日公民館		
<p>① 研修日時</p> <p>平成23年7月26日(火)8:30～12:00、平成23年7月27日(水)8:30～12:00 平成23年7月29日(金)8:30～17:15、平成23年7月30日(土)8:30～17:15 平成23年8月6日(土)8:30～13:30、平成23年8月18日(木)8:30～17:15</p> <p>② 研修内容</p> <p>○児童クラブ交流会(7月26日)</p> <p>■概要</p> <p>松江市内の児童クラブ(中央児童クラブ・母衣児童クラブ)と東出雲町の揖屋児童クラブが、松江市と東出雲町の合併を記念した交流行事を実施。内容は合併をモチーフにしたクイズ大会や児童クラブ対抗綱引き大会、合同ドッジボール大会を実施</p> <p>■研修内容</p> <p>他の公民館職員2名と一緒に会場設営準備、交流会実施支援</p> <p>○朝日祭り(7月27日、7月29日、7月30日)</p> <p>■概要</p> <p>いわゆる地区の「夏祭り」の準備と運営を実施。地元自治会が中心となり、松江市立第三中学校と連携して実施。本年度は、祭り前日の天気予報が「雨」のため、中学校の体育館を中心とした屋内仕様での準備となった。</p> <p>■研修内容</p> <p>看板準備、案内チラシ配布、イベント準備、会場設営準備</p> <p>○外国人への語学教室(8月6日)</p> <p>■概要</p> <p>松江市内に在住する外国人の方に日本語に習熟してもらうための教室を開催。講師と地域住民が一緒になり、外国人の方とマンツーマンで日本語の教育をしてゆくというもの。実施にあたっては松江市の国際交流協会とも連携して会館今回の研修への参加も地区外からの参加者が多く見受けられた。</p> <p>■研修内容</p> <p>会場設営準備、語学教室参加</p> <p>○夏休み交流会(8月18日)</p> <p>■概要</p> <p>夏休みの子供交流会で銅板画を作成するもの。準備された銅板に子供達が好きな絵を書いてゆく。銅板に好きな絵を描く→硫黄を混ぜた水に付けて色付けさせる→水洗い後余分に色付いた部分をアルコールで拭き取る(完成)。昔は銅板に釘で凹凸を付けて絵にしていたが、現在ではこの手法が主流とのこと。</p> <p>■研修内容</p> <p>会場設営準備、銅板細工サポート</p>			

① 研修の感想

【現状】

今回の研修を通して感じたことは、公民館をツールに活動している団体が予想以上に多いこと。婦人会、老人会、地区自治会、サークル、NPO団体、個人活動など多種多様な団体の活動の場として積極的な活用がなされている。公民館の役割も「フィールド」ばかりでなく「コーディネート」の役割も求められている。各団体の活動も活発で公民館の貸し出し予約も前・午後・夜間と毎日スケジュールで埋まっている。

【課題】

★利用者の固定化・高齢化

講座を実施しても「常連」しか参加されず人の交流が少ないとのことであった。今回手伝いを行った「日本語講座」でも日本人参加者が固定化しており講座のマンネリ化に繋がっているとの意見が聞かれた。他の講座でも同様でかつ高齢化が進んでいるとのことであった。今後住民に対する意識啓発が重要になるとのこと。

★発想の固定化・硬直化

上記①ともリンクするが、利用者が固定されるため、外部から意見や発想も固定化されているらしい。新規事業を検討する際にもまた職員も「これで良い」と発想が固定化されやすい環境にあるとのことだった。今回「新しい目で見えて気づいた点があれば言ってみて下さい」と頻りに言われたことが大変印象的であった。

【今後】

朝日公民館は松江の中心市街地にあるという地の利に加え、地域のリーダー的な存在の方々が多く存在すると共に、公民館長さんをはじめとするメンバーに支えられかなり活発な活動がなされていると感じた。

② その他特記事項

(※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。)

最終日には「意見交換」ができて大変良かった。自分が研修を通じて思ったことや、感想でも書いた公民館の悩みなど様々なことが話し合えたので、良かった

(注1)研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

(注2)研修期間(7月～3月)中、報告会を開催します。